

いしかわの道

県の代表的な事業の紹介

風光明媚な珠洲の海岸線を走る

主要地方道 大谷狼煙飯田線（寺家バイパス）

整備の目的

「主要地方道 大谷狼煙飯田線」は、珠洲市馬縹町を起点とし、珠洲市飯田町に至る延長32.7kmの路線で、風光明媚な能登の里山里海景観を楽しみながら周遊できる観光道路であり、また、地域の生活を支える重要な道路です。

珠洲市三崎町寺家地内においては、急カーブや急勾配が連続する区間や、幅員が狭く人家が連坦している区間が連続し、観光バスをはじめとする大型車とのすれ違いが困難であるなど、円滑な通行に支障をきたしていることから、これらの解消を図るため、平成26年度より、新たなバイパス整備に取り組んでいます。

期待される効果

1. 安全・安心の確保

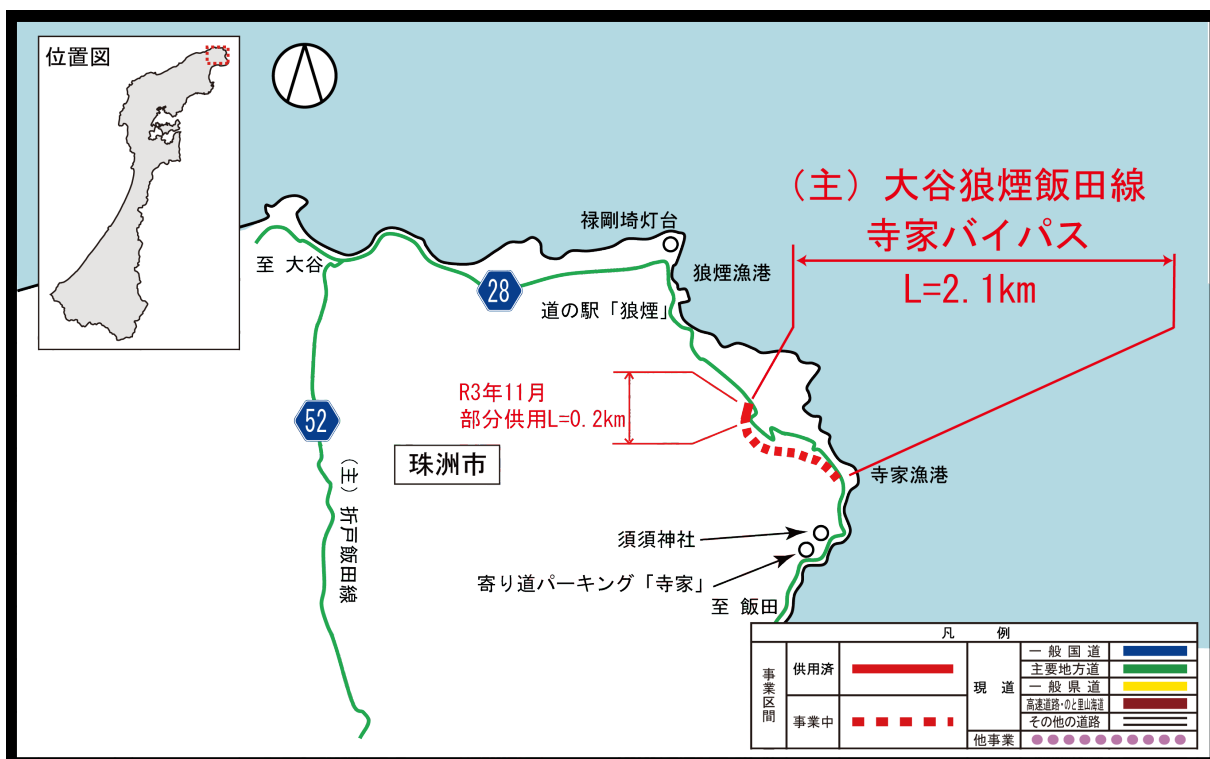
地震・豪雨・降雪などの自然災害に強い道路が整備されることにより、安全で安心な生活道路が確保されます。

2. 利便性の向上

急カーブ、幅員狭小が解消されることにより、観光バス等の大型車両のすれ違いが可能となるとともに、地域住民の利便性が向上します。

3. 地域の活性化

奥能登地域の観光地相互の連携が強化され、観光交流人口の拡大が期待されます。





事業の概要

- 路線名 主要地方道 大谷狼煙飯田線
(寺家バイパス)
- 起点・終点 珠洲市三崎町寺家地内
- 事業延長 L=2.1km

幅員が狭く、自動車のすれ違いが困難